



瞬間計測震度を用いた揺れ最中の避難行動可能時間の定量化

鍬田泰子¹⁾、齊藤 栄²⁾

1) 正会員 神戸大学大学院工学研究科 准教授 博 (工学)

e-mail : kuwata@kobe-u.ac.jp

2) 非会員 神戸大学大学院工学研究科

要 約

本文は、想定地震において地震動強度だけでなく地震の揺れ最中に避難行動が可能な時間を定量的に示し、持ち時間に応じた最適な避難対策につなげることを目的としている。地震時の人間行動に関する研究には震度と関連づけられたものが多いことから、地震の揺れ最中の避難行動可能時間は時々刻々の計測震度の推移を評価できる瞬間計測震度を用い、過去の地震記録を地震のタイプごとに定量的に整理した。本研究により地震揺れ最中の行動可能な時間を震源距離と地震規模で推定することが可能となった。

キーワード： 避難行動可能時間、瞬間計測震度、地震タイプ、リアルタイム地震防災